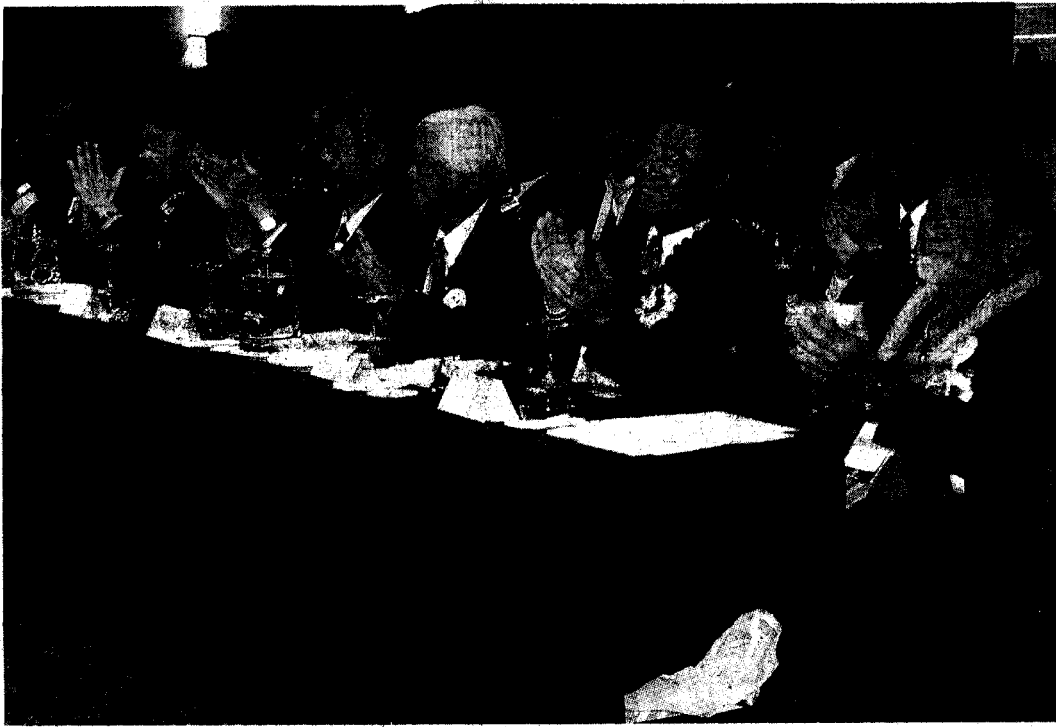


WUB世界大会ペルーで開幕

新たなビジネス探る

【リマ30日玉城真理】「各国の県系人経営者」が集い、経済交流の促進を図る第10回WUB（ワールドワイド・ウチナンチュ・ビジネス・アソシエーション）世界大会が三十日午前（日本時間同日深夜）、ペルー・リマ市のリマスイスホテルで開かれた。各国十支部から約二百二十人が参加。相互交流を深めながら県系人ネットワークを活用した新たなビジネス展開の可能性を探った。ペルーの民族舞踊・リ

ズモス・イ・コロレス、われ後、WUBインタ次会長が「WUBは一九九七年から開催され、十



各国から約220人の会員が出席して開かれた第10回WUB世界大会—30日午前、ペルー・リマ市のリマスイスホテル

回目を迎えた。沖繩は島は小さいが、世界は大きい。先人の気持ちを受け継いで、未来に向かって大きな輪を作っていきたい」とあいさつ。また、赤嶺光弘WUBペルー支部会長は「琉僑の輪が今大会を通して、なお一層強固なものになり、世界的規模での交流で、新たなビジネスが立ち上げられることを願う」とあいさつした。

稲嶺憲一知事は「WUBの取り組みで世界各地のウチナンチュのビジネスネットワークは着実に広がっており会員相互のビジネス活動も促進されている。こうした取り組みを誇りに思う。WUBの有する国際的ネットワークとの連携は重要で、引き続き協力関係を深めていきたい」と強調した。

大会は五部構成で、開会式後、二部ではペルー政府のパプロ・デ・ラフロル・ペラウンデ通商観光省副大臣による「ペルー輸出産業」をテーマにした基調講演が行われる。